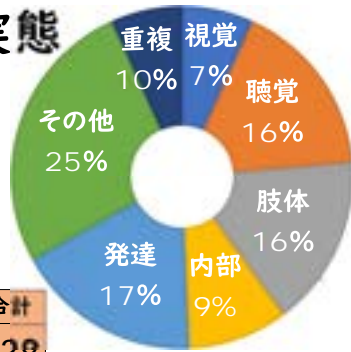


日本福祉大学 学生支援センター

本学の障害学生の実態

本学の障害学生は138人
聴覚障害学生は25人
重複障害学生は15人



視覚	聴覚	肢体	内部	発達	その他	合計
10	25	24	14	26	39	138

パソコン・ノート(ポイント)テイク

講義時に先生が話した内容を、パソコンや専用用紙を使って文字起こしをする支援です。
パソコンテイクは2人以上で行い、できるだけ早く文字にして情報を伝えます。
ノートテイクも2人以上で行い、周囲の音もリアルタイムで伝える筆記通訳です。
ポイントテイクは1人で行い、各利用学生のニーズに合わせて支援を行います。

サポート学生の配置状況

支援を必要とする授業数 実際に活動したサポート学生数

	総計
UDトーク修正	72
手話通訳	1
ノートテイク	8
ポイントテイク	12
計	93

	総計
社会福祉学部	37
教育・心理学部	21
スポーツ科学部	5
健康科学部	6
経済学部	3
国際福祉開発学部	1
看護学部	0
計	73

映像の字幕付け



字幕を付ける会「くまじ」という有償ボランティアのサークルがあります。

先生からの依頼で、授業の映像教材に字幕を付ける活動をしています。
各自の空きコマを使って、期日までに字幕付け作業を仕上げます。

活動コマ数に応じて、キラット★ポイントという報酬が貰えます。

支援体制

キラット★

サポートしたい気持ち優先

- 初心者でもOK
- 同時履修OK・空きコマもOK
- 障害のある学生の支援ならどんな活動でもOK

■サポート学生登録をするだけ

■ボランティア
■キラット★ポイントの対象。障害学生支援活動奨励金として、年2回 500円～20000円の金券等がもらえる

プレミア

技術と責任

- 活動経験あり
- 自分の空きコマで活動
- 授業内支援(UDトーク修正、ノートテイク、パソコンテイク、肢体障害学生の代筆・資料めくり等)

■採用手続きのために書類の提出が必要

■年回、開始時間と終了時間を報告

■勤務報告書の提出が必要

■短期業務職員
時給990円
(2023年度前期)

本学では、サポート学生を中心に支援体制を整えています。

- ①障害学生が支援センターに必要な支援を依頼
- ②依頼情報をサポート学生に共有
- ③サポート学生が希望する支援を申し込む
- ④学生支援センターが学生同士をマッチングして、活動開始

手話サロン

月に2～4回、学生スタッフが手話を学ぶきっかけづくりとして、手話サロンを行っています。

主な企画

- ・指文字練習
- ・自己紹介
- ・週末のことを話そう
- ・大学で使える手話表現
- ・絵本を手話で表現してみよう など

サロンを通して簡単な手話を身に付けて、支援で活かしている学生もいます!



支援の内容 UDトーク



参考: <https://udtalk.jp/>



「UDトーク」という自動音声認識アプリを使用し、誤変換や不足している情報を修正・補足する支援です。

支援者は教室内で講義を聴きながら、パソコンやスマートフォンを使って修正・補足支援をしています。

基本、学生が2人体制で支援を行っています。

支援体験会

支援体験会では、「支援に興味があるけど一歩踏み出せない」「どのようにやったらいいのかわからない」そんな学生の背中を後押ししています。

主な体験内容

- ・UDトーク修正
- ・パソコン・ノートテイク など

様々な支援経験のある学生スタッフと一緒に練習します。先輩の体験談も聞けるため、初めて支援に入る人は、不安を解消する場にもなります。

